

Glocal Tenri



8

月刊 **グローバル天理** Monthly Bulletin Vol.11 No.8 August 2010

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

CONTENTS

- ・ 巻頭言
元氣なお年寄りにこそ・・・
／深谷忠一 1
- ・ 天理教教理史断章 (56)
庄司家文書①
／安井幹夫 2
- ・ 天理教海外伝道の資料 (8)
上海伝道関連史料⑧
／深川治道 4
- ・ 天理異文化伝道の諸相 (72)
コンゴ伝道に見る異文化接触 [38]
／森 洋明 5
- ・ 今日の時代における宗教批判の克服学 (20)
「僧にあらざ俗にあらざ」の精神を今こそ
／金子 昭 6
- ・ 「二つ一つ」の環境学 (33)
野生生物の多様性と保全①
開発と保護の狭間に生きるキタサン
ショウウオ
／佐藤孝則 7
- ・ ハワイ人とキリスト教：文化と信仰の
民族誌学 (17)
「良き人類学」の可能性
／井上昭洋 8
- ・ 天理スポーツ (3)
障害者スポーツと天理②
／難波真理 9
- ・ 世界平和のための宗教対話 (21)
カソリック世界：聖職者の性的小児愛症
／山口英雄 10
- ・ 図書紹介 (54)
『グローバル化時代の EU 研究』
／堀内みどり 11
- ・ English Summary 12
- ・ おやさと研究所ニュース 13
平成 22 年度公開教学講座「現代社会と天理教」(1)
／研究報告会／「教学と現代 VII」開催のお知らせ

巻頭言

元氣なお年寄りにこそ・・・

おやさと研究所長 深谷忠一 Chuichi Fukaya

日本は 65 歳以上の人口が 2 千 901 万人という世界一の長寿国ですが、平均寿命（男性 79.29 年、女性 86.05 年）だけでなく、健康寿命（自立して健康に生活できる年齢）も、世界で最も長いといわれています。内閣府の意識調査によると、65 歳以上の人で、“病気で一日中寝込んでいる”は 0.5%、“病気がちで寝込むことがある”は 5.2%、“あまり健康であるとはいえないが、病気ではないと考えている”が 29.9%、“自分は健康であると考えている”は、64.4%、となっています。

つまり、現在日本には、14 万の寝たきりの人と 150 万の病気がちの 65 歳以上の人がいるのに比して、1 千 868 万の元氣な人と、万全ではないが一応元氣な 867 万人、合わせて 2 千 735 万人（オーストラリア一国の総人口 2 千 130 万人よりはるかに多い）の健康なお年寄りがおられることとなります。

現在わが国には、老人福祉施設が 9 千 446 ケ所あり、在所者数が 14 万 3 千 624 人、訪問介護利用者数は 73 万 8 千 793 人となっています。また、ロボットや画像認識によって老人や障害者を支援するシステムを開発したり、住宅や都市環境の中にコンピュータ・ネットワークを組み込んで、弱者の生活を支援する等、QOLT（クオリティ・オブ・ライフ・テクノロジー）の研究でも、日本は世界の最先端をいつています。まだまだ十分ではないにしても、病氣や障害のある老人への支援の意識と福祉の環境整備の進捗状況は、諸外国に比しても日本はかなり進んでいると申せましょう。

しかるに、いわゆる健康な高齢者、介護を必要としない 65 歳以上の人に対するケアの方は、政府の“健康現役社会の実現に向けて〇〇の強化”などというも掛け声だけに終わっています。“元氣なのだから、誰にも頼らず晴耕雨読で過ごせばよい”と申しても、日本の市民農園は全国で 3 千ヶ所、そこで晴耕をしている人口は全 65 歳以上の 2% 程度の 50 万人に過ぎません。耕すのは農地だけでない、ゴルフも晴耕だといっても、60 代のゴルフ人口は 145 万人。また、確かな統計はあり

ませんが、最近の老人のゲートボール人口は 3 ～ 40 万人程度だといわれます。その他、シルバー人材センターの団体数が 1 千 329 団体で、その会員数が 75 万人。雨読の方は適当な指標がありませんが、“日本には 2 千 700 万人分の晴耕雨読の環境が整っている”とはとても言えない状況だと思います。

一昔前までは、60 歳で還暦を迎えれば、その後は余生。“70 歳は古来稀なり”といわれましたが、今は 90 歳でも古稀と言うのを憚れる状況です。“余生は好きなことをして過ごさない”では済まない長い時間が残されているのに、多くの人がすることがない。毎日を如何に過ごすべきかで困っている人が、少なくとも 2 千万人以上はいるだろうというのが昨今の日本の現実なのです。

さて、有難いことに、天理教の教祖は 90 歳まで存命でおわし、陽気ぐらしのひながたをお残しくございました。また、1 万 7 千の天理教の教会の中には、若者より老人の方が多く集まる教会が沢山あります。天理教には、高齢者のための“ひながた”も、それを味わい実践する環境も整っているのです。この天理教の持つ特性を大いに活かして、多くの元氣なお年寄りに充実した老後を送ってもらえるように、いろいろな人生モデルを提示するのが、私どもに与えられた大事な任務の一つだと思います。

しんぢつ心の心しだいのこのたすけ
やますしなずによりなきよふ 3 - 99
このたすけ百十五才ぢよみよと
さだめつけたい神の一ぢよ 3 - 100
そのゝちはやまずしなすによりらすに
心したいにいつまでもいよ 4 - 37
またさきハねんけんたちた事ならば
としをよるめはさらないぞや 4 - 38
このご神言を夢物語にしておくのではなく、お言葉通りの現実の姿をご守護頂かなければなりません。“天理教の教会に行けば、大勢の 100 歳や 110 歳の方が、皆元氣で、陽気にておどりをしている姿が見られる”となれば、どの教会にも、世界中から大勢の参拝者が押しかけることになるであります。